

事務事業名		認定農業者育成資金利子助成事業			会計	一般会計					
課等名		農業課 係等名 農村振興係			事業種別	政策		開始	7	終了	
基本計画上の位置づけ	政策	1	多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり								
	施策	12	未来を見据えた地域産業の魅力、強み、人材の強化								
目的	対象(誰・何を)	認定農業者			対象指標	指標名及び単位			24年度数値		
	意図(どういう状態にするか)	経営を拡大・安定してもらう				認定農業者 単位:人			212		
	向上させたい上位施策の成果指標	既存農業者の産出額(農業):億円									
目標	種別	指標名及び単位			24年度計画	24年度実績	25年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)		
	成果指標	農業資金利用計画認定件数(融資件数) 単位:件			5	4	2	5			
	定性目標										
事業概要	<p>認定農業者が安定した経営と更なる事業展開を図るために、認定農業者自らが作成する「農業経営改善計画」の実現に向けた取り組みを資金面から支援。低利な資金斡旋と利子助成。市特別融資制度推進会議による資金利用計画の認定を受けた認定農業者に対し、「農業経営基盤強化資金」又は、「農業近代化資金」の融資利子の一部を助成する。</p> <p>両融資は平成19年度～平成21年度に貸付全期間無利子化措置が実施され、平成22年度～平成23年度には貸付当初5年間の無利子化措置が実施された。平成24年度からは「人・農地プラン」対象者はスーパーLに限り貸付当初5年間で金利負担軽減措置(実質無利子化)が実施され、両融資とも500万円以下の貸付に対する上乗せ利子助成(補給)が廃止された。</p> <p>平成19年度から融資額2500万円以下については、金融機関に融資決定の事務委任をしている。</p>										
事業内容					名称			活動指標			
24年度事業内容	1 農業資金利用計画認定 (1) 融資照会に対する対応 (2) 融資の可否決定(2,500万円以上の場合は特別推進会議の招集又は、持ち回り) (3) 既存融資に対する利子補給事務(年2回) ア. 農業経営基盤強化資金(スーパーL)利子助成 イ. 認定農業者育成推進資金(近代化資金)利子助成 2 自然災害等に伴う緊急対策				農業資金利用計画認定件数(融資件数)			4件(内1件は利子助成対象外)			
事業コスト		23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	特定財源内訳、補足					
事業費計(千円)①		4,118	3,606	3,558	3,041	(県) 農業経営基盤強化資金利子助成補助金 (6/10、1/2)					
国庫支出金											
県支出金		2,302	1,985	1,986	1,670						
起債											
その他											
一般財源		1,816	1,621	1,572	1,371						
人件費計(千円)②		858		858							
正規職員所要時間		240		240							
臨時職員所要時間											
総事業費①+②		4,976	3,606	4,416	3,041						
事業内容・目標達成状況の振り返り	<p>融資件数は4件でほぼ計画どおりであった。本年度から500万円以下の貸付に対する上乗せ利子助成が廃止され、利子助成(補給)対象は4件中3件であった。</p>										
改革改善の考え方	①問題点	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象指標である認定農業者数が高齢化等の理由により減少傾向にある。</li> <li>借入をしてまで規模拡大を図ることが厳しい農業経営状況となっており、貸付実績は増加傾向にない。</li> </ul>									
	②改革提案	<p>農業経営改善には農業設備の投資とそれに対する行政の支援は不可欠である。政策変更の可能性もあり、引き続き金融機関と連携し、融資以外の支援も含めて多面的に支援していく必要がある。</p>									